

## 第2学年 図画工作科学習指導案

日 時 令和5年12月 日( ) 校時  
授業場 大教室

- 1 題材名 ならべて つんで ペットボトルキャップの大へんしん！  
「造形遊びA表現(1)ア、B鑑賞(1)ア、共通事項(1)ア、イ」

本題材は、身近にあるペットボトルのキャップを並べたり、積んだりして、体全体を働かせながら思い付いたことを表していく造形活動である。ペットボトルのキャップは、生活の中で身近であり、形や大きさ、堅さは2年生の児童にも扱いやすい。また、赤、白、黄、青などカラフルな色も児童が思いをふくらませ、発想が広がる魅力ある材料であると考えられる。本題材では、まず「並べる」「積む」行為によってペットボトルのキャップでつくりだす形や色の面白さを感じ取らせることから始める。ペットボトルのキャップを並べたり、長くつなげたり、積み重ねたりするなど、体全体を働かせながら思い付いた活動を何度も試していく。並べたりつなげたりすることで、長い直線や曲線など様々な形を表すことができる。また、床に敷き詰めて面と表したり、積み上げることで立体をつくりだしたりすることもできる。試行錯誤しながら、つくり、つくりかえ、つくるという面白さや楽しさを味わえるようにしたい。

本学級の児童は、図画工作科の授業への関心が高く、楽しんで活動する様子が見られる。これまでに、クレパスを使って絵に表す活動や楽焼き粘土でつくりたい生きものを立体に表す活動、厚紙を使った紙けん玉の工作などに取り組んできている。自分の好きなものや表現したいものを絵に表したり、工作したり、粘土で立体に表したり、児童は手などで触りながら材料を捉える感覚や手や体全体の感覚などを働かせて色々と試みる経験をしてきた。楽焼き粘土の授業では、粘土をのぼしたり、ひねり出したりしながら自分の好きな生きものをつくっていたが、「はじめは〇〇にしようと思ったけど、やっぱりちがう生きものに見えてきたからかえてみよう。」と、つくりかえる児童の姿が見られた。また、その様子を見ていた友達も粘土に触りながら自分もやってみようと、様々な形につくりかえて楽しんでいる様子が見られた。これらの姿から「つくり、つくりかえ、つくる」活動や、児童の「やってみたい」「こんなことできそう」という気持ちを引き出すとともに、もっと手や体全体を働かせた活動を行いたいと考えた。

指導にあたっては、十分な量のペットボトルのキャップを用意する。色ごとに分けて、児童がすぐ選んで取れるように場を設定する。体全体を働かせながらペットボトルのキャップを並べたり、積んだり、思い付いた活動をすぐに試せるように、活動場所は大教室とした。活動中は、言葉かけとともに、活動の様子をタブレットで撮影しておき、評価だけでなく授業中の支援や振り返りの場で活用していく。活動が進まない児童には、教師と一緒に並べたり積んだりしたり、友達の並べ方や積み方を見せたり、タブレットで撮影したものを見せたりして、自分の思いが表現できるようにする。また、児童にも自分や友達がつくったお気に入り撮影するように促す。そして、鑑賞場面や振り返りの場で電子黒板に映し出し、工夫しているところやよいところなどを全体で共有し、ペットボトルのキャップが大変身した面白さを味わわせたい。

## 2 題材の目標

- (1) ・自分の感覚や行為を通して、形や色に気付き、手や体全体の感覚を働かせながら、ペットボトルのキャップの並べ方や積み方を工夫して表す。 (知識及び技能)
- (2) ・ペットボトルのキャップを並べたり積んだりしながら、自分のイメージをもち、造形的な活動を思い付いたり、どのように活動するかについて考える。  
 ・自他の作品の造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) ・ペットボトルのキャップを並べたり積んだりする活動に楽しく取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しい生活を創造しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)

## 3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分の感覚や行為を通して、形や色に気付き、手や体全体の感覚を働かせながら、ペットボトルのキャップの並べ方や積み方を工夫して表している。	・ペットボトルのキャップを並べたり積んだりしながら、自分のイメージをもち、造形的な活動を思い付いたり、どのように活動するかについて考えている。 ・自他の作品の造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	・ペットボトルのキャップを並べたり積んだりする活動に楽しく取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに形や色などに関わり、楽しい生活を創造しようとする。

## 4 指導計画 (2時間 本時 2/2)

時間	ねらい・学習活動	評価の観点	評価方法等
1	・ペットボトルキャップを並べたり積んだりする活動に関心をもち、どのように活動するか考えて試す。	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">思</div> ◎ (発想や構想)	・ペットボトルのキャップを並べたり積んだりしながら、自分のイメージをもち、造形的な活動を思い付いたり、どのように活動するかについて考えている様子を観察したり、対話したりしながら記録に残す。(観察、対話、作品) ・タブレット上の記録を通して考えや思いを把握する。(観察、対話、作品) ・ペットボトルのキャップを並べたり積んだりする活動に取り組む様子を観察する。(観察)

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルのキャップの並べ方や積み方を工夫して表す。</li> <li>・友達と互いの活動や作品を見合い、並べ方や積み方の工夫や形や色の面白さやよさなどについて考え、見方や感じ方を広げる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">知</div> ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感覚や行為を通して、形や色に気付き、手や体全体の感覚を働かせながら、ペットボトルのキャップの並べ方や積み方を工夫して表している様子を記録に残す。(観察、対話、作品)</li> <li>・自他の作品の造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている様子を観察する。(観察、発言)</li> </ul>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">技</div> ◎	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">思</div> ○ (鑑賞)	

○題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を把握し、記録に残す。

## 5 本時

### (1) 目標

ペットボトルのキャップを工夫して並べたり積んだりするとともに、できたものを見て回りながら、形や色の面白さやよさを感じ取ることができる。

### (2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
5分	1 本時の活動への意欲をもち、本時のめあてを確認する。	○前時の活動を振り返り、児童が意欲的に活動できるように、めあてを確認する。		
いろいろな ならべ方やつみ方をたのしもう！				
30分	2 ペットボトルのキャップを並べたり積んだりしながら、どのように活動するか考える。	○並べたり積んだりしながら自分の思いに合った活動をしている児童や色や形の組み合わせ方を工夫している児童を称賛する。 ○並べ方や積み方、色や形の組み合わせ方の工夫した表現をタブレットで撮影し、映像を提示することで、イメージを広げられるようにする。	自分の感覚や行為を通して、形や色に気付き、手や体全体の感覚を働かせながら、ペットボトルのキャップの並べ方や積み方を工夫して表している。  <b>【知識・技能】</b>	観察 対話 作品

10分	3	自分や友達の表現を見て話し合い、本時の活動を振り返る。	○できたものを一緒に見て回ったり、タブレットで撮影したものを映し出したりすることで、形や色の面白さや並べ方や積み方の工夫を感じ取ることができるようにする。	自他の作品の造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 【思考・判断・表現(鑑賞)】	観察 対話 発言 作品
-----	---	-----------------------------	---	---	----------------------

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できると判断される状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルのキャップを並べたり積んだりしながら様々な活動を試み、表し方を工夫して自分の思いを伸び伸びと表している。</li> <li>・自分や友達のつくりだした形や色の面白さやよさに気づき、友達にも伝えようとしている。</li> </ul>
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の並べ方や積み方に目を向けさせたり、教師と一緒に並べたり積んだりして、自分の思いを表現することができるようにする。</li> <li>・友達の発言や映像を基に、活動を振り返りながら、自分や友達がつくった形や色の面白さやよさを感じ取ることができるようにする。</li> </ul>